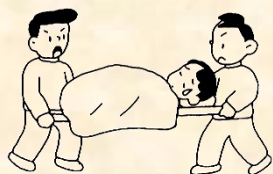


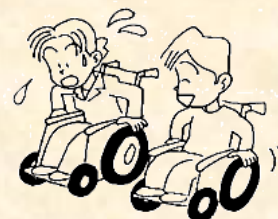
福祉学習



プログラム



《学校用》



福祉学習のねらい

すべての人々がこの社会の中で誇りをもって心豊かで幸せな生活を送ることができるようになることが、地域福祉のめざすものです。

本会では、共に支え合い、誰もが安心して暮らせる町づくりを目指し、事業を推進しております。

この『福祉学習プログラム』は発達段階に応じた体験で、「気づき」「考え」「自ら行動に移すことができる」内容が盛り込まれています。

未来の担い手である児童・生徒が、地域社会の一員としての自覚を持ち、自発的・主体的に福祉に関わる実践力を育むものです。

学習までの流れ

① 体験申込み

【福祉学習職員派遣依頼書にて、2週間前までに申込み下さい】



② 日程を調整し、ご連絡いたします



③ 打合せ（担当の先生と1～2回行います）

【資料の搬入出など、ご協力いただくこともあります】



④ 学習日当日

申込み・問合せ先【町域の支所へお問い合わせください】

支所名	住所	電話	FAX
迫支所	迫町北方字大洞 45-3	0220-22-3537	0220-22-2966
登米支所	登米町寺池金谷 12-1	0220-52-4889	0220-23-9377
東和支所	東和町米川字六反 55-1	0220-45-2139	0220-53-4555
中田支所	中田町上沼字西桜場 18	0220-34-2030	0220-34-2526
豊里支所	豊里町新田町 50-2	0225-79-1135	0225-79-1136
米山支所	米山町西野字古館廻 8	0220-55-2644	0220-55-5612
石越支所	石越町南郷字新石沢前 47-3	0228-34-2501	0228-34-3970
南方支所	南方町新高石浦 130	0220-58-5303	0220-58-5304
津山支所	津山町柳津字黄牛田高畑 36-5	0225-68-2161	0225-68-2180

気づき・地域を知る

区分	ねらい (テーマ)	内容	対象	時間	講師例
講話	地域と福祉を知る	<ul style="list-style-type: none"> ○登米市について (人口分布と高齢化率) ○バリアフリーとユニバーサルデザインについて (写真や現物を見ながら) ○社協について (福祉教育、ボランティア等) 	小学 4年生～	要相談	社協職員
グループワーク	さまざまな人が感じている不便さを理解する	<ul style="list-style-type: none"> ○スーパー等での買物を想定し高齢者や障がい者にとって何が不便なのかを考える ○自分たちで何が手伝えるか考える 	小学 3年生～	45分～ 要相談	社協職員

キャップハンディ体験

区分	ねらい (テーマ)	内容	対象	時間	講師例
聴覚障がい者体験	聴覚障がい者の正しい理解と、コミュニケーション方法を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○耳の不自由な方の話を聞く ○手話体験 (手話・口話・ジェスチャー等いろいろなコミュニケーション方法) 	小学 1年生～	要相談	視覚障害者 手話通訳相談員
障がい者スポーツ体験	障がいがあっても楽しめるスポーツをとおして、相手の立場に立って考える	<ul style="list-style-type: none"> ○風船バレー ○ブラインドサッカー ○フライングディスク 	小学 1年生～	要相談	障害者スポーツ指導者 社協職員
視覚障がい者体験	視覚障がい者の正しい理解、介助体験	<ul style="list-style-type: none"> ○目の不自由な方の話を聞く ○アイマスク体験 ○白杖体験 ○点字 (仕組み、実技) 	小学 3年生～	要相談	視覚障害者 社協職員
下肢障がい者体験	車イスの正しい使い方、介助体験	<ul style="list-style-type: none"> ○車イスを使って生活されている方の話を聞く ○車イス体験 	小学 3年生～	要相談	車イス利用者 社協職員
シニア体験	年をとることによる心体の変化、介助体験	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者疑似体験 ○認知症講座 (自分の出来る範囲で手助けする方法を学ぶ) 	小学 3年生～	要相談	包括支援センター 社協職員

防災

区分	ねらい (テーマ)	内容	対象	時間	講師例
初級 (命を守る)	地域防災や災害時の身の守り方について学ぶ	①非常時持出袋の中身は何 ②緊急災害連絡カードの使い方 ③緊急時連絡板の使い方 ④防災の豆知識 ⑤災害時の心得 ⑥応急手当・救急救命法	小学校 中学年～	30分～	社協職員 外部講師
中級 (支援する)	災害時設置される災害ボランティアセンターについて学ぶ	①災害ボランティアセンターとは ②被災地支援活動	小学校 低学年～	30分～	社協職員 外部講師
上級 (支え合う)	地域の一員として何が出来るかそれぞれが考える	①防災マップ作り ②災害図上訓練 (DIG) ③避難所運営ゲーム (HUG) ④防災クロスロードゲーム	小学校 高学年～	30分～	社協職員 外部講師
上級 (生きる)	災害発生時、生きるために必要なことについて学ぶ	①火おこし体験 ②灯り作り ③ロープワーク ④炊出し体験・非常食体験	小学校 高学年～	30分～	社協職員

福祉学習外部講師紹介

指導内容	所属団体・職名	講師名	講師料 (目安)
視覚障害 盲導犬	日本盲導犬協会仙台訓練センター (TEL: 022-226-3910)	(仙台市)	10,000 円～ 30,000 円
視覚障害	宮城県視覚障害者情報センター (TEL: 022-234-4047)	(仙台市)	要相談
キャップハンディ	宮城県身体障害者福祉センター (TEL: 022-291-1585)	(仙台市)	要相談
聴覚障害 手話	登米市福祉事務所 生活福祉課 手話通訳相談員	菅野 千恵 (登米市)	—
聴覚障害 手話	手話サークルレインボー 会長	鈴木 文彦 (登米市)	5,000 円
車イス 障害スポーツ	宮城県障害者スポーツ指導者協議会 スポーツ指導員	及川 節夫 (登米市)	3,000 円
災害、防災	登米市災害救援ボランティア サポートセンター	戸田 和夫 (登米市)	3,000 円
防災	YY防災ネット	吉田 亮一 (仙台市)	要相談
防災	SONAE仙台防災学習研究所 所長	古橋 信彦 (仙台市)	30,000 円
認知症サポーター養成講座	福祉事務所 長寿介護課 (TEL: 0220-58-5551)	キャラバンメイト (登米市)	—
認知症講座	地域包括支援センター	(登米市)	—
レクリエーション	とめレクリエーション協会	(登米市)	3,000 円
福祉の仕事	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会 宮城県福祉人材センター	(宮城県)	—

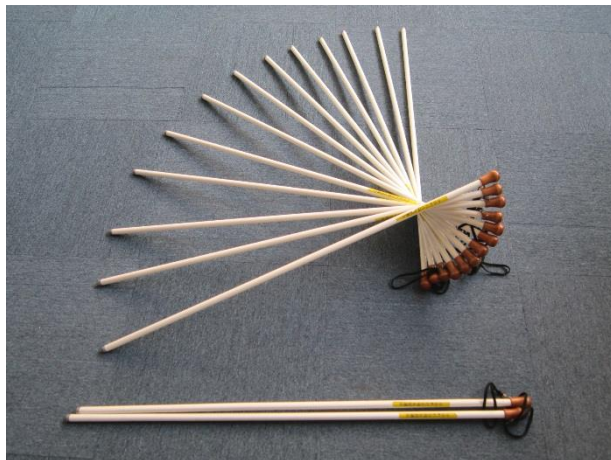
※上記以外にも多くの講師がおりますので、講師派遣につきましては、ご相談ください。

登米市社会福祉協議会
 ～福祉学習プログラム・貸出物品一覧～

車イス (自走式 16台)



白杖 (104本)



アイマスク (38枚)



点字ブロック (30枚)



視覚障害体験グッズ (1セット)



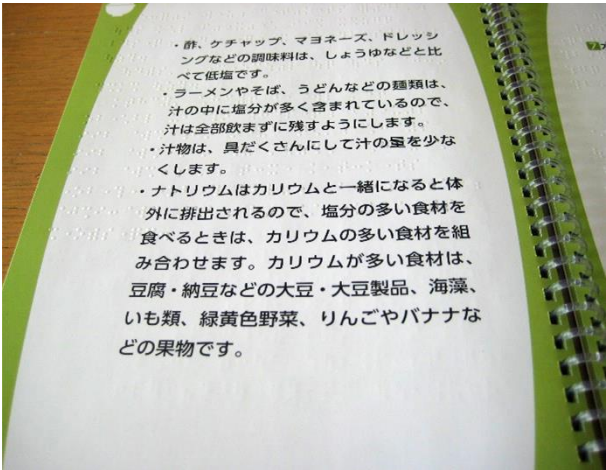
視覚障害メガネセット (1セット)



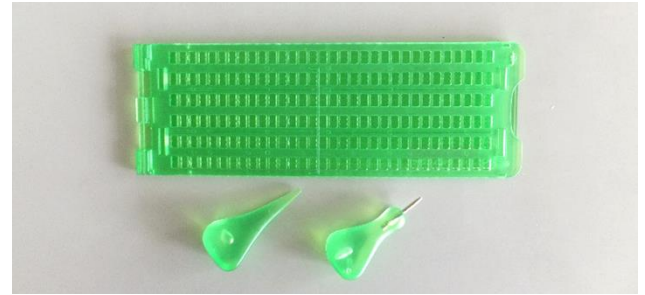
点字板・定規・てんぴつ (33 セット)



点字本



携帯用点字器 (21 セット)



疑似体験中ベスト (35 枚)



避難所運営ゲーム【HUG】(12 セット)



防災クロスロードゲーム (20 セット)



シニア体験グッズ① (大人用 12 セット ・ ジュニア用 5 セット)

高齢期体験

① 視覚シミュレーター

白内障による色覚変化を疑似体験できます。
 ● 70代後半の色覚状態に設定しています。
 ● メガネの上から装着できます。

② 聴覚シミュレーター

高音域が聞きづらい老人性難聴を疑似体験できます。
 ● 耳栓タイプ(当社従来品)のような消耗品ではありませんので、何度でも使用できます。

④ 五十肩シミュレーター

五十肩による腕や手があがりにくい状態を疑似体験できます。
 (五十肩シミュレーターは円背シミュレーターにセットされています)

⑧ 補助杖

姿勢に合わせて、高さが調整できます。



片マヒ体験

③ 肘拘縮シミュレーター

脳卒中による片マヒで、肘が曲がった状態を疑似体験できます。
 ● 左右兼用型ですので、どちら側の片マヒでも疑似体験できます。

⑤ 円背(えんぱい)シミュレーター

骨粗鬆症による前屈姿勢や老人性円背(ねこぜ)の状態を疑似体験できます。
 ● ベルト等の調整で、中学生から大人まで広範囲の方々が疑似体験できます。

⑥ 膝関節拘縮シミュレーター

① 円背状態により両膝が曲がり、がに股状態になる状態を疑似体験できます。
 ② 膝を固定し、脳卒中により片マヒで膝が拘縮し、膝関節が伸びたままの状態を疑似体験できます。
 ● 一つの装具をアレンジして2通りの疑似体験ができます。

⑦ 内反尖足(ないはんせんそく)シミュレーター

脳卒中による片マヒで、足が内向きになりつま先の下がった内反尖足(右の片マヒ)の状態を疑似体験できます。



シニア体験グッズ② (大人用 10 セット ・ ジュニア用 2 セット)

高齢者 疑似体験 教材

視覚障害ゴーグル

付属のシートで白濁、視野狭窄、黄斑、全盲が体験できます。

おもり付ベスト

体験者の体力に応じ、重さを変えられます。

アルミ折りたたみステッキ

歩行時に負型のがかた体を補助します。

イヤーマフ

聴覚の変化、難聴の体験ができます。

ゼッケン

目立つ色なので遠くからでも疑似体験中と視認できます。

前かがみ姿勢体験ベルト

前傾姿勢で固定した高齢者と同様の目線と制限された動きを体験できます。

おもりバンド

筋力の低下による動作の遅さや平衡感覚の変化を体験できます。

ひじサポーター

ひざサポーター

特殊プレートにより屈曲が困難になり関節の動きの低減を体験できます。

